

# News Letter

Newsletter くまもと

## Kumamoto

春  
Spring  
2013  
vol. 97

■ Publisher : Kumamoto International Foundation  
KCIC 4-18 Hanabata-cho, Chuo-ku, Kumamoto City, 860-0806  
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp  
URL : http : //www.kumamoto-if.or.jp/

■ 発行 : 一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団  
〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-18 熊本市国際交流会館  
Tel : 096-359-2121  
e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp  
URL : http : //www.kumamoto-if.or.jp/



### CONTENTS



多文化共生セミナー 報告 ..... 1P  
多文化共生月間 写真展報告 ..... 2P  
ちょっといわせてはいよ ..... 3P  
プロヴァンスからこんにちは! ..... 4P・5P

世界を知る ..... 6P  
未来のために ..... 7P  
ちょっと日本語/きふプロ ..... 8P

## 多文化共生セミナー 「国際結婚、熊本での暮らし」(報告)



2013年2月16日(土)、熊本市国際交流会館にて、多文化共生社会づくりを推進、啓発する月間プログラムの一環として、本多文化共生セミナー「国際結婚、熊本での暮らし」が行われ、55名の方にご参加いただきました。このセミナーは、在住外国人と日本人がそれぞれの文化を理解し合い、対等なパートナーとして一緒に暮らしている地域社会を創っていく一助となるよう、2008年に始まりました。

二つの異なる文化が出会い、一緒に家庭を築いていく国際結婚は、多文化共生社会づくりの縮図とも言えます。今回は、近年日本国内でも増加を続ける国際結婚(約20組に1組)をテーマとして、ご自身も国際結婚をされている新潟県長岡市の長岡市国際交流センター長の羽賀友信さんをお迎えし、お話ししていただきました。また、国際結婚し熊本在住のアリ・ジャファールさん(男性、パキスタン出身)、内川ラニーさん(女性、フィリピン出身)と日本人配偶者の聖也さん、長嶋リータさん(女性、フィンランド出身)、ヒラリー・マンダさん(男性、タンザニア出身)をパネリストにディスカッションを行いました。

第1部の羽賀さんのお話しでは、日本国内の国際結婚に関する概略について、東京等大都市に集中しており(半数以上)、外国人妻との国際結婚数が全体の75%を占めているそうです。また、国際結婚の離婚率は38%と日本人同士の2.2%と比較して非常に高く、友好

な家族関係を築いていくことが容易でないことが分かります。言語・心・制度の壁が大きく横たわる国際結婚では、「一生、この人と添い遂げる」という人一倍の覚悟が必要となります。一方、東日本大震災では、イスラム教徒が同胞の方々に加え多くの被災者の方々への炊きだし支援をされたり、気仙沼のフィリピン人妻の方々がボランティア活動をされたり、言語や文化の違いを乗り越え信頼を築き良きパートナーとして支え合った事例が報告されています。羽賀さんは、「国際結婚をはじめ、母国から離れ日本で暮らす外国人の方々が、生き甲斐を見つけ、自分らしく生きて欲しい」と締め括られました。

第2部のパネル・ディスカッションでは、「二人の出会い」、「熊本での暮らし」、「家庭内の異文化」、「子育てと“ダブル”の文化」をテーマに話し合われました。それぞれの母国でのお互いの家族・親戚付き合いから、「最初は親に反対されたが、腹を割って話し合いを重ね、最後にはかけがえのない信頼関係ができた」、「遠い国から来たからと大切にしてもらい幸せを感じた」、「日本人家族の気遣いが嬉しかった」という異文化間の家族関係、子どもの教育、宗教の違い等具体的な体験談が話され、外国人配偶者を受け入れる家族全体の気配りのように地域社会においても外国人を受け入れる際には信頼関係を構築していくことが重要であると再認識されました。

国際結婚39年目の長嶋さんは、「夫とは、今も手をつないで寝ています。…幸せな結婚生活には最初に出会った時の気持ちを忘れないこと、いつもパートナーを理解しようとする努力することが大切であると思います。」とお話しされましたが、まさに、愛情と理解が、すべての結婚、そして、多文化共生社会を築いていくための要となります。

「多文化共生の実践者」である国際結婚をされている方々の生の声をお聞きすることで、今後の多文化共生社会、「すべての人が暮らしやすい社会」について考える機会となりました。在住外国人だけでなく、幅広い世代、様々な背景を持つ人たちが、お互いに理解し合い、支え合い、そしてお互いの良いところが活かせる輝く多文化共生社会づくりを推進するため、私たち一人ひとりが意識改革していければと思います。

## 多文化共生写真展レポート

熊本市国際交流振興事業団では、毎年2月を多文化共生月間と位置づけ、様々なイベントを実施しています。



その2月の多文化共生月間イベントの一環として、熊本市国際交流会館1Fエントランスにて「多文化共生写真展」を行いました。



**外国人市民からのメッセージ** この写真展は、熊本にお住まいの外国人市民の現状を少しでも多くの方に知っていただき、多文化共生への意識を高めることを目的に始めました。今年度は、熊本の在住外国人数のグラフや、多文化共生社会の歩み、当事業団の取り組みなどを紹介するとともに、熊本の外国人市民の顔写真に自己紹介やメッセージを付けて掲示、その他に外国人の書道体験の作品の展示を行いました。来場者の方からは、「熊本にこんなに様々な国籍の外国人が暮らしているとは知らなかった」「外国人が日本の文化に興味を持ち、着付けや書道などの文化体験に

参加していることが嬉しかった」「実際に写真や自己紹介を見て、自分も友達になってみたいと思った」など、様々な感想が寄せられました。また、在住外国人の方からも「自分たちのことを知ってもらえて嬉しい」「熊本にもたくさんの外国人が暮らしていると改めて知って、心強くなった」などのお声をいただきました。熊本に暮らす外国人の現状に興味を持っていただき、国籍にかかわらず、様々な人々が共に暮らしやすい多文化共生社会づくりのきっかけとなれば幸いです。



書道の作品づくりの様子



外国人市民による書道作品

多文化共生についてのお問い合わせは、  
熊本市国際交流会館 多文化共生オフィス  
TEL.096-359-4995 (午前11時～午後6時)  
まで、お気軽にお訊ねください。

### 国際掲示板

#### KIF日本語支援ボランティア募集!

～在住外国人の方々と日本語でおしゃべり、交流する活動～

◇ 活動場所(曜日): 健軍(月曜日)、武蔵ヶ丘(火曜日)、国際交流会館(水曜日、日曜日)

熊本市には約4000名の外国人住民が暮らしています。(住民200人に一人が外国人住民) 彼らは、生活する上で重要な病院・お買い物場また災害時等で、言語や文化の違いから課題に直面しています。日本語の「おしゃべり」とおして、外国人住民の皆さんが日本語を学ぶお手伝いをする日本語支援ボランティアを募集しています。活動は、先輩ボランティアの方と一緒にスタートしますので安心です。詳細は、KIFまで、お気軽にお問い合わせください。(TEL 096-359-4995、EMAIL [pj-info@kumamoto-if.or.jp](mailto:pj-info@kumamoto-if.or.jp))

# ちょっと いわせて はいよ

熊本市役所で、中国国際交流員として勤務していた阮茉莉さんが、一年間の任期を終え、帰国することとなりました。熊本の皆様への、お別れのメッセージをご紹介します。

## サヨナラの言葉

熊本市 中国国際交流員(CIR)  
阮 茉莉(ゲン マリ)

昨年の桜が名残惜しそうに散っていくのを、まだ昨日のこのように覚えています。あっという間に一年がたち、新しい桜、春の雨を見ることとなりました。窓の向こう側にそびえている熊本城を眺めていると、この1年間の出来事が次々と脳裏に浮かんでいきます。

熊本での最初の仕事は、晩餐会の通訳でした。不慣れだったため、難しく、途中までしか出来ませんでした。悔しくて悲しくて恥ずかしくて…。文化観光局長を始め、国際室の皆様のおかげで、国際室の皆さんの温かい励ましのお言葉に本当に励まされました。そのおかげで、今はもう堂々と市長の通訳ができるようになりました。(まだまだ下手ですが。)



話題のスカイツリー、久しぶりに再会した友人たち、楽しかった!



日本のすごく優しい爺ちゃん、私と娘です。

熊本市国際交流会館での中国語サロン・世界を知ろうサロンでは、毎月異なるテーマについて、自国のことを紹介したり、ほかの交流員の国の話を聞いたり、参加者の皆様と話し合ったりしてたくさんを知ることができ、すごくいい勉強になりました。

学校訪問も楽しかったです。小学生たちの好奇心に満ち溢れた顔を見てみると、自分の知っている中国のことを何でも教えてあげたくくなります。学校から送っていただいた子供たちの手紙や写真をみるのが、趣味になりました。自分も一生懸命ゲームに取り組んでいたこと、今思えばすごくおかしかったなあ。また、CIR中間研修と翻訳・通訳集合研修、大変いい経験になりました。日本全国のCIRやALTが集まり、集合学習をしたり、意見交換したり、食事会をしたりしていい思い出がいっぱいできました。

週末や祝日の時も、皆様がいつも親切に気遣ってくださったおかげで、充実し、楽しい時間を過ごすことができました。

長年にわたり中国人国際交流員のお世話をしてこられた福永さんの自家製のお米、栗、柿、お餅、野菜…どれも美味しかった!菊池溪谷の晩春と秋の景色も素晴らしかった!天草の海がきらきら光ってすごくきれいだった!七年前から付き合い合っている森田さん、コーヒーもステーキも、また行きましょうね。中国語の勉強も頑張ってくださいね。ホームステイさせていただいた麻衣子ちゃん、イチゴ狩り楽しかった!元気な赤ちゃんが生まれますように!

皆様方、一年間、温かく見守ってください。本当にありがとうございました。中国に帰ってからは、必ず皆様方の友情を中国の人々にお伝えします。中日友好の春も必ずやってくるかと信じております。



長崎の旅

菊池溪谷の晩春と秋の景色も素晴らしかった!天草の海がきらきら光ってすごくきれいだった!七年前から付き合い合っている森田さん、コーヒーもステーキも、また行きましょうね。中国語の勉強も頑張ってくださいね。ホームステイさせていただいた麻衣子ちゃん、イチゴ狩り楽しかった!元気な赤ちゃんが生まれますように!



早朝の琵琶湖

# プロヴァンスからこんにちは！

熊本市がフランス・エクサンプロヴァンス市と「交流都市」協定に調印しました！フランス・エクサンプロヴァンス市紹介



## 第1弾 ～能舞台を通じた民間交流を背景に両市の調印へと結実～

エクサンプロヴァンス市の位置



フランスのエクサンプロヴァンス市について、ご存知ですか。地中海に面するフランス南部の大都市マルセイユから北へ25キロ、車では20分ほどのところに位置しています。この地に惹かれたイギリス人作家のピーター・マイル氏が執筆した「南仏プロヴァンスの12ヶ月 (A Year in Provence)」が1989年に世界的ベストセラーとなったことで、世界中の人に知られるようになり、世界中から多くの観光客が訪れている人口14万人の都市です。「近代絵画の父」と称される画家ポール・セザンヌの故郷であり、セザンヌゆかりの観光スポットが数多く存在し、17～18世紀の歴史的な建造物をそのまま保存した歴史のある街並みを擁しています。また、世界3大オペラ祭である「エクサンプロヴァンス国際音楽祭」が毎年夏に開催されるなど、世界にも名だたる地位を確立している都市ともいえます。

熊本市とエクサンプロヴァンス市の関係は、1984年の熊本日仏協会の同市訪問をきっかけに開始されました。その後、熊本市在住の喜多流能楽師狩野琇鵬氏（フランス国内での呼称は狩野丹秀氏）が、関係者から譲り受けた能舞台の移築先を探していたこと、日本の能について熱心に研究しているフランス人の学者が能楽を絶賛していたこと、さらに、熊本市在住で南仏出身のフランス人が「エクサンプロヴァンスの国際音楽祭で日本の能を見学できないか。世界中の人々が能を見るきっかけになる。」と狩野氏に相談していたことなどをきっかけとして、同氏が、1992年、エクサンプロヴァンス市に総檜の能舞台を寄贈することを決められ、両市の実質的な民間交流が始まりました。

このように能舞台を中心とした日本の伝統芸能をエクサンプロヴァンス市民に紹介し、草の根の民間交流が20年以上にわたり、継続してきました。この民間交流がご縁となり、行政レベルにおいても樹木交換や国際イベントへの参加等の相互交流が行われるようになりました。昨年9月、両市は、エクサンプロヴァンス市において交流都市協定に向けた「意向書」を取り交わし、これを受け、今年2月中旬、エクサンプロヴァンス市からマルティン・フネストラス副市長を団長とする代表団3名が来熊され、2月16日に「交流都市」協定の調印を行いました。今後は、これまでの民間交流を礎として、文化・芸術交流の他、観光、経済、教育、調査研究、都市活性化、都市行政など具体的な成果が期待される各分野での様々な交流を深めてまいります。（随時掲載）



（熊本市国際室） エクサンプロヴァンス市にある狩野丹秀能舞台



(左:マリーズ・ジョワサン=マジニ市長、右:幸山市長)

エクサンプロヴァンス市長マリーズ・ジョワサン=マジニ市長が事前に署名された協定書(日本語版・フランス語版)を代表団が持参、幸山市長がこれに署名し、フネストラス副市長がジョワサン=マジニ市長に代わって日付を記入されました。



## ① エクサンプロヴァンス市とは

- 人口約14万人で人口の2割以上、約4万人の学生が暮らす学園都市。
- ローマ時代から「水の都」と呼ばれ、街中の至るところに大小の噴水が存在。
- 2013年の「欧州文化首都」に認定され、1年に亘り様々な文化イベントが実施されている。

市庁舎前広場



市庁舎の時計台



## 国際掲示板

### 【第9回 熊本城坪井川園遊会】

#### ■郷土芸能「肥後絵巻」

- ◇日時:4月28(日)・29日(祝)、5月3日(祝)～6日(祝) 午前11時～午後5時
- ◇会場:長堀前舞台、熊本城「城彩苑」親水空間特設舞台(雨天時は城彩苑のみ)

#### ■くまもと花魁道中～東雲～

- ◇日時:5月3日(祝)午後3時30分～/午後6時30分～
- ◇会場:熊本城長堀前・城彩苑(午後3時30分～)/城彩苑(午後6時30分～)
- ※雨天時は中止の場合もあり

#### ■坪井川浪漫舟めぐり

- ◇日時:5月3日(祝)～6日(祝) 午前10時～午後4時
- ◇会場:長堀前和船周遊コース(所要時間:約20分)

#### ■野点

- ◇日時:5月3日(祝)～6日(祝) 午前11時～午後3時
- ◇会場:城彩苑
- ◇参加費:300円(お抹茶・和菓子)

### 【第7回オレンジの会ホームステイプログラム】

2013年 アメリカより高校生43名が来熊です♪♪熊本にて、異文化交流を体験しましょう。はじめての方も、大歓迎です☆素敵な出逢いが待ってます。ホストファミリーさん&ボランティアさん、大募集!!!ご不明な点はどうぞお気軽に、お問い合わせください。

- ◇期間:2013年6月27日(木)～7月1日(月) 4泊5日
- ◇問い合わせ先:異文化交流オレンジの会/Orange Intercultural Club
- ◇TEL:096-324-1261(アートアイ内)
- ◇E-mail:orange\_club07@yahoo.co.jp



## 世界を知る It knows the world.

このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構（JICA）デスク熊本や、国際交流、協力分野で活躍している皆さんのご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

### フィリピンの知られざる文化 織物文化

Girls, be Ambitious 代表 やまだ まき 山田 麻樹さん

東南アジアの国の1つフィリピン。福岡空港からフィリピンの首都マニラ空港までは飛行機で3時間半と近く、毎年35万人以上の日本人がフィリピンを訪れています。フィリピンと言われ思いつくのは、“バナナ” “海” “リゾート” というイメージで、あまりフィリピンの文化に関するイメージはないかと思えます。

フィリピンは1565～1898年までスペインの植民地であり、その後1898年～1946年までアメリカの植民地であった為、フィリピンの大部分の場所では、スペイン文化をベースとした文化発展をしており、近代はアメリカ文化＝フィリピンの大衆文化となっています。しかし、実はフィリピンには7,108もの島があり、言葉も100程の現地語あると言われ、多様な文化が共存しています。一般的に伝統文化に乏しいと言われるフィリピンでもその地域特有の文化を持っている地域があります。今回はそんな独自の文化を持つ地域を、“織物”を切り口にして、2地域紹介したいと思います。

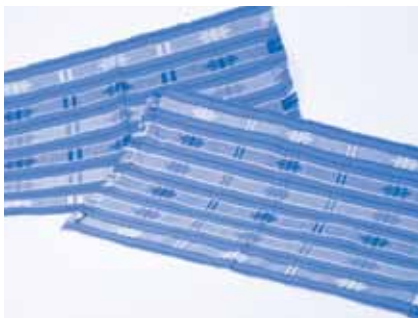
#### バギオ織り(バギオ市)

バギオ市は首都:マニラからバスで5～7時間程、ルソン島を北上した所にある市です。常夏のフィピンとは思えない程寒く(一番寒い季節で気温が10℃程)、キャベツ等の高原野菜が多く取れ、イチゴの産地としても知られています。この地域には先住民が代々受け継いできた織物(バギオ織)



バギオ織の様子

があり、またバギオ市周辺にも様々な先住民が作った織物(サガダ織、バナウエ織等)があり、彼らは土着の宗教を信仰しており、赤や緑といった原色をベースに地域ごとに異なる模様が入った生地を織ります。これらの織物は手動の織り機を使っておられるものがありますが、ほとんどは織り機を使わず完全手作業で織られています。



バギオ織のテーブルマット

#### ヤカン織り(ザンボアンガ州ヤカン村)

フィリピンの最西端に位置する、ミンダナオ島・ザンボアンガ州のヤカン村。この地域は、反政府組織のモロ・イスラム解放戦線(MILF)の活動が盛んな地域でもあり、外国人の誘拐事件が起こる等治安が不安定な地域です。しかし、インドネシアやマレーシアなどのイスラム圏から渡ってきた先住民たちが、独自の



ヤカン織の様子

文化圏を作っている、非常に多様な文化が入り交じっている地域でもあります。そんな地域にあるヤカン村に住むイスラム教を信仰するヤカン民族は、自分たちの生活に関わりの深い動物の模様をあしらった刺繍がはいているのが特徴です。また、インドやタイの生地にも通じるような細かな模様が入ったシルク生地も作っています。彼らもまた織り機を使わず手作業で織っています。



ヤカン織の模様

織物文化の様に、フィリピンにはまだまだ知られていない工芸品、文化が沢山あります。フィリピンはまだあまり身近な国では無いかもかもしれませんが、熊本県にはフィリピン国籍の方が1,058人(平成22年国勢調査結果)住んでおり、中国籍(3,628人)の方に次ぐ2番目に多い外国籍住人がフィリピン人の方なのです。実は身近なフィリピン。この記事きっかけに少しでもフィリピンを身近に感じ、興味を持ってくれる方が増えると嬉しいです。

#### 山田 麻樹さん プロフィール

熊本県宇城市出身。2008年-2010年まで青年海外協力隊としてフィリピン・セブ島で村落開発普及員として活動。帰国後、Girls, be Ambitiousを立ち上げ、フィリピン産のフェアトレード商品の販売やスタディーツアーの運営等を行う。

HPアドレス <http://www.girls-be-ambitious.com>

# 未来のために

ここでは、私たちの未来を考える上でとても重要な視点である共に生きる社会、多文化共生について  
 専門家である羽賀友信さんにシリーズでご寄稿いただいています。  
 今回は多言語化の時代についてご寄稿いただきました。

## 国際結婚

国際結婚の現状は、1980年ごろから急増し、2006年をピークに減少傾向にあります。また国際結婚は圧倒的に男性が多く、2010年の国際結婚のうち、75%が男性です。男性の場合、相手は中国、韓国・朝鮮が60%を占めています。その内、中国は40%以上あり最大のグループを形成しています。女性の場合は、韓国・朝鮮が最も多く、米国、中国と続きます。

現在、国際結婚は婚姻全体の4.2%になり、25組に1組が国際結婚をしていることとなります。都市部では、自由恋愛が多く高学歴の結婚が主になりますが、地方ではブローカー紹介型の結婚が主になっています。

一方、国際離婚の実態を見てみると、夫日本人、妻外国人のカップルの38%、夫外国人、妻日本人のカップルの離婚率はなんと39%に達しています。これは両方のケースで約10人のうち4人が国際離婚をしているという驚くべき状態です。価値観の違う者同士の結婚は非常に難しいのですが、特にブローカー紹介型の結婚は更に難しい状態にあります。それは金銭が双方にかかるため、実態を知らずに結婚をしてしまうことが大きな原因になっています。結婚を考えたとき生病老死という大きな課題を夫婦で共有することが重要になります。また離婚のケースでは、離婚に関する法律がそれぞれの国で異なるため、結婚に比べて更に複雑になりがちです。専門職である離婚カウンセラーの門をたたき調停へと導いてもらうケースが多くなります。

国際離婚の原因ランキングでは、1位が浮気、2位以下10位までは性生活の減少、性の不一致、価値観の相違、リストラ、子どもの問題、金銭問題、蒸発、食生活の問題、死別という統計があります。1位から3位は性的問題であり、これは4位の価値観の相違と大きな関係があります。日本人が歴史的にも他国の植民

地支配を受けたことがない固有文化の国であるため、「あたりまえ」「普通なら○○だ」ということが、外国的には大きくことなり「普通なら○○だけど●●なことでも考えられる」という柔軟性にかけるため性交渉に関してもこの考えに起因するものが多いのではないのでしょうか。

習慣の違いもまた、性生活の問題、価値観の相違、子どもの問題、金銭問題などと深く結びついて深刻な離婚の原因になっています。特に宗教に関しては、外国では規律が生活に浸透しているケースが多く、1例としてイスラム教は一人の男性が妻を4人持つことなどは当たり前のことです。夫は4人の妻に平等に愛を与える義務があり、お互い協力しあって子孫繁栄につとめなければならないことがコーランに書かれています。また食事に関してもハラールを守らなければならないことなど、頭で理解できても日々の生活で少しずつストレスとなり、我慢の限界となる場合があります。

国際結婚では、お互いを尊重し、相手の立場から物事を見るグローバルなコミュニケーション能力が大切になります。ちなみに私の妻も外国人ですが、30数年続いています。原因はお互いを尊敬していることだと思います。



筆者 羽賀 友信さん  
 長岡市国際交流センター「地球広場」センター長  
 新潟NGOネットワーク顧問  
 JICA地球ひろば 国際協力サポーター  
 長岡市教育委員、JICA専門家  
 ※当事業団多文化共生アドバイザー

## あなたの企業も一緒に情報発信しませんか!?

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成7年11月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協心に感心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいています。

\*webでも公開しています。( <http://www.kumamoto-if.or.jp/> )

発行:年4回(4月、7月、10月、1月) 部数: 3,000部

配布先:市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、市内の国際交流・協力団体、当事業団のボランティア登録者及び賛助会員(約500名)、熊本市役所関係機関(区役所、市民センター、公民館等)、熊本市国際交流会館内

広告の種類:1/4ページ(この広告募集のサイズです。)

契約期間及び料金:1/8のおためしサイズ(1回) 5,000円単発(1回) 20,000円、半年契約(2回) 30,000円  
 年間契約(4回) 40,000円

★まずは、1/8のおためしサイズ(1回5,000円)で貴社の情報を発信しませんか!

ちょっと日本語/きふプロ/イベント情報

Japanese Tip  
**ちよっと日本語 「例えば・・・」**

NPO法人日本語サポートあさ  
代表 小川 ひろみ さん

日本語の教室では、分からない日本語の言葉を説明したり、別の言葉で置き換えたりしても、なかなか理解されないばかりか、ますます混乱させてしまうことはよくある失敗です。前もって疑問点が予測されていれば、絵や写真、実際の物を示し「これです」と言えば終わりですが、とっさに「つれていく」と「もっていく」とどう違いますかと聞かれたら、「さあ、こまった!」そこで、質問者に「たとえば、あなたが犬だったら、私は公園にあなたをつれていく。物だったら、ボールをもっていく、となります」この具体的な例で一件落着となるハズが、「先生! 私は犬ではありません!」いつもと違う教室の雰囲気でした。ちょっと、例えただけなのに。人のある物、特にどうぶつに例えるというのは文化的な配慮があるようです。数ある失敗のひとつでした。

**きふプロ** ハイデルベルクの新聞に「熊本城マラソン」

インターネットではもっとたくさん紹介しています。  
URL <http://kifblo.blog.ocn.ne.jp/blog/>

熊本市の友好都市ハイデルベルクの地方紙「ライン・ネッカー新聞」に熊本城マラソンの記事が掲載されました!



〈日本語要約〉  
熊本でマラソン

第2回熊本城マラソンが開かれ、18万人の市民が9777人のランナーを旗や太鼓で応援した。報じたのは熊本県の通信員、重浦睦治。1420人が4キロのコースを8357人がフルマラソンを走った。コースは市内中心部と西南部の田園地帯を巡り、熊本城二の丸広場がゴール。フルマラソンでは7962人のランナーが7時間の制限時間内にゴールした。国際交流会館の前では日本語コースの参加者が日本語、英語、中国語、韓国語の横断幕を掲げて声援をおくった。  
@2月17日(日)当日に備え、応援の旗をくらしのほんごくらぶやサポートセンターのボランティア、くらしのほんごくらぶの学習者のみんなで作成しました。色々な国の国旗、くまもんなどなど応援メッセージも書き込みました。  
@マラソン当日は、くらしのほんごくらぶのボランティアの方々、学習者の方々が横断幕を掲げ、ランナーを応援しました。応援に駆けつけた子どもたちに、作成した応援の旗を配り、みんな一緒になって熊本城マラソンを応援し、盛り上がりました。

☆平成25年度賛助会員募集!!☆

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。

会員の方々には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、Denkikan様のご協力により映画鑑賞料金の割引特典や当事業団主催講座の受講料会員割引特典もあります。

- ①個人会員 一口 2,000円/年(一口以上)
- ②団体会員 一口 10,000円/年(一口以上)

平成26年3月までの会員期間となります。

〈入会のお申し込み・お問い合わせ〉

一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団事務局  
〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-18 熊本市国際交流会館  
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783  
E-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

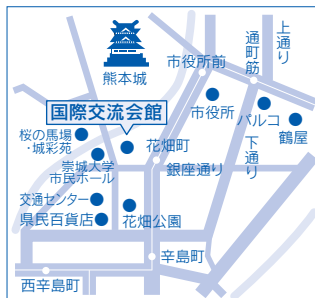
継続・新規ご加入ありがとうございました

平成24年12月27日～平成25年3月20日現在にご加入いただいた皆様) (個人)50音順(敬称略)

今井 朋子	千馬 佳子	松岡 有紀恵
浮田 のぞみ	武智 久子	松崎 昇
大谷 清明	新穂 かおり	宮崎 知嘉子
金村 由美子	廣瀬 謙一	吉田 和美
古賀 真由美	古河 幹男	
重浦 シヅ子	前田 香	

私たちは熊本の国際交流活動を応援しています!  
(団体)50音順(敬称略)

- London Bridge International School
- 阿蘇ハイランド開発株式会社
- 医療法人社団 愛育会 福田病院
- 学校法人 君が淵学園 崇城大学
- 学校法人 鎮西学園
- 株式会社 北翔工業
- 株式会社 キャップ
- 株式会社 泉民百貨店
- 株式会社 サンカラー
- 株式会社 ニュースカイホテル
- 株式会社 まちづくり熊本
- 株式会社JTB九州熊本支店
- 株式会社熊本シティエフエム
- 九州産交ツーリズム(株)熊本交通センターホテル
- 九州農水株式会社
- 熊本液化石油ガス事業協同組合
- 熊本学園大学
- 熊本市地域婦人会連絡協議会
- 熊本城桜の馬場リテール株式会社
- 熊本日独協会
- 熊本日米協会
- 国立大学法人 熊本大学
- コスギ不動産
- 財)熊本市駐車場公社
- 志成館高等学院
- 下田れい子お琴教室
- 成和旅行社
- 西日本電信電話株式会社 熊本支店
- 西本会計事務所
- マルヒサ食品



- 阿蘇くまもと空港より 車で45分
- 熊本交通センターより 徒歩 3分
- 熊本市電花畑町より 徒歩 3分

from Aso-Kumamoto Airport-  
45minutes by car  
from Kotsu Center-3minutes walk  
from "Hanabata-cho"  
tram stop-3minutes walk

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 午前9時～午後8時  
多文化共生オフィス(午前11時～午後6時)  
096-359-4995(直通)

休館日 第2・第4月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

Civic Support Center for International Exchange and Cooperation  
Kumamoto City International Center  
Service Hours 9:00 a.m.-8:00 p.m.  
Multicultural affairs office (11:00a.m.～6:00p.m.)  
096-359-4995 (Dial-in)  
Closed:2nd and 4th Mondays of each month,Dec.29th～Jan3rd